

GIGAスクールの授業をのぞいてみよう！

錦ヶ丘小学校は、市内に5校あるGIGA（※）スクール推進校の1つ。実際に、6年生の授業で情報端末を活用している様子を紹介します。※GIGA=Global and Innovation Gateway for Allの略

社会の時間

歴史の授業で鎌倉時代の元寇について学んだ後に、「戦功に対する恩賞として領地がもらえるよう、幕府にアピールするせりふを考える」という課題が出されました。



自分が武士になったつもりで、主君にアピールするせりふを吹き出しに入力・送信します。



端末ではクラス全員の答えが見られます。自分が良いと思った、他の児童の答えを挙手して紹介し合う場面もありました。

外国語の時間

世界各国の夏の特徴を学んだ後、「外国の友達に紹介したい日本の夏」について、班ごとに答えをまとめることになりました。情報端末からネットワークに接続することで、同じ班の人と一緒に作業ができます。



班ごとの作業場所に、思い浮かんだ言葉を入力。入力した考えが、個人ごとに色分けされて、画面に表示されます。



意見をまとめて、班ごとに発表。モニターを見ながら「花火」「ホテル」などの英語表現を、全員で復唱しました。

児童に聞きました！

「情報端末を使った学習はどうですか？」

「みんなと考えや意見を共有できるのが楽しい」と話してくれたのは林さん。川村さんは、「授業で分からなかったところを自分ですぐ調べられるのが良い」と、休み時間も活用しているそうです。これから挑戦してみたいことを質問すると、2人とも「プログラミング」と元気に答えてくれました。



▲錦ヶ丘小学校6年生の林多聞子さん（左）と川村悠翔さん（右）

子どものうちから主体的に学ぶ経験を



▲錦ヶ丘小学校 菅原 弘一校長

45分の授業の中で、子どもたちの興味・関心や考え方は、全員同じ方向に向かうわけではありません。しかし、情報端末を活用した授業により、教師が児童それぞれの意見を把握し取り上げることが容易になって、これまで以上に一人一人の個性を大切にできるようになったと感じています。また、子どもたち自身も、自分の考えを伝えるだけでなく、クラスメートの多様な考えを知るこ

とができるようになりました。他者の考えを認めつつ、そこから自分の考えをまとめるなど、大人になったら当たり前のように求められることを、子どものうちから経験できると良いですね。

これからの時代、さまざまな情報を活用し、学びに生かすというのは、当然必要なスキルになるでしょう。子どもたちには、ICTを活用した学びを通して、教えられたことを受け取るだけでなく、自ら課題を見つけたり、自分の考えを創り出したりする「主体的に学ぶ力」を身に付けてほしいと思います。

この特集に関するお問い合わせは、教育指導課 ☎214・8421、FAX264・4437



情報教育で育む生きる力

—変わる学びの現場から

1人1台の情報端末で学びの可能性を広げる

スマートフォンやタブレット端末が日常生活に欠かせない存在になるなど、今、社会のあらゆる場面で、ICT（情報通信技術）の活用が進んでいます。科学技術の目覚ましい発展は、教育環境にも大きな変化をもたらしており、次代を担う子どもたちが、この情報化社会を生き抜くために、必要な力を養うことが求められています。

国は令和元年に、小・中学校の児童生徒1人につき1台の情報端末と、高速大容量の通信ネットワークを学校へ一体的に整備する「GIGAスクール構想」を示しました。ICTを教育にも取り入れることにより、特別な支援を必要とする子どもを含め、一人一人に合わせた学びを実現し、その力を最大限引き出すことが狙いです。

自ら考え、課題を解決できる子どもたちを育む

市は、令和2年10月に、「仙台市における情報教育推進2021」を策定。これからの社会をたくましく生き抜く力を育むことを基本理念に、ICTを用い、情報の収集・活用などを行う「情報活用能力」の育成を推進しています。

情報活用能力を学習の基盤にして、子どもたちが課題を解決したり、自分の考えを形成したりすることを目指します。

令和2年度には、情報端末が全ての市立の小・中学校等に配備されました。ネットワーク回線の増強も今年の8月に完了して、情報端末が本年度から本格的に、各教科の授業で利用されています。

授業では、疑問や興味があることを調べたり、学習活動を動画で記録したりするなど、子どもたちの自発的な学習を支えています。

また、課題に対するクラス全員の答えがリアルタイムで共有されるため、双方の意見交換ができるほか、教師が各々の反応を踏まえた、よりきめ細かな指導を行うことが可能となりました。子どもたちも、他の人の多様な考えを知ることや自分の考えを深め、新たな問題を発見し、自ら解決しようとして、「主体的な学び」を身に付けています。さらに、コロナ禍の状況を踏まえて、学校と家庭をつないでオンライン学習に向けた準備も進めています。

一人一人に応じた学びを実現し、自ら学ぶ力を培うICTを活用した教育。大きく変化する時代を、強く、しなやかに生きるために必要な資質を育みます。